

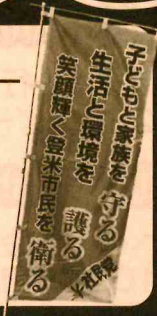
登米市議会（令和2年6月定期議会）

# すとうこうき報告



## 政治信条

子どもと家族を守る！  
生活と環境を護る！  
笑顔輝く登米市民を衛る！



発行／須藤 幸喜 住所／登米市登米町小島大野前84番地5 TEL・FAX／0220-52-4351

## 市民の意見を 市政に生かしてまいります！

緊急事態宣言は解除されましたが、まだ予断を許さない状況です。感染防止に努め、「新しい生活様式」を取り入れながら活動していきます。近年、大雨による被害が多くなっており、登米市も昨年、台風19号による被害を受け、現在も爪痕が残っている状況であります。早急に災害復旧を行うよう今後も継続して働きかけてまいります。登米市議会では、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染防止対策をしながら5月特別議会と6月定期議会を行ってきました。6月定期議会の一般質問では、本来50分間の時間を30分とし、登米市消防団員と消防自動車積載における備品貸与について本市の姿勢を問いました。

今後も広報活動・辻立ち等も継続していき、精力的に頑張っております！

## すとうこうきプロフィール

### ＜＜主な経歴＞＞

昭和36年7月5日	登米町に生まれる（59歳）
昭和55年3月	宮城県米谷工業高等学校卒業
平成18年4月	登米市立登米中学校PTA会長
平成18年4月	登米市PTA連合会会長
平成25年7月	登米市職員組合執行委員長
平成28年9月	登米市職員退職
平成29年4月	登米市議会議員初当選

### ＜＜現職＞＞

市議会教育民生常任委員会副委員長  
市議会広報広聴委員会委員  
市民生委員推薦会委員

## すとうこうき一般質問・答弁

### ○本市における消防団員への備品貸与について

問 本年4月より消防団員となった方々への衣服の貸与がない。

答 未だ活動服の貸与はないと聞く。退団者の返納品の一時貸与もない状況である。再度調査が必要である。さらに、署員には装備されている頭上の小型ライトや災害現場用の誘導棒もなく、市民の命を守る団員の自らの命が守りきれない。

問 現在のコロナウイルス関係や、他の感染症・火災・行方不明者の捜索活動等、発生時に消防署員にあって、消防団員には頻度が著しく低いことを理由に、配備しないとのことだが、行動や範囲が逆に著しく狭まる事を危惧するが。

問 火災時の放水活動中、防火水槽への補水、補充を行う際に、T字型のハンドルを用いるが、補充コックが深いことから、T字ハンドルが路面ギリギリであり、大変苦勞している。事情を署に伺い、話をしてきたのだが未だその手立てがないようだ。担当する場所の備品は、最低条件と思われる。団で購入や作成とせず、貸与は必要だ。

問 ただ欲しいと言っているのではない。署員が装備して、団員がない現状は、リスクが大きい。行方不明者の捜索時も、片手でライトを持つよりも、両手が自由に使えることは、安全かつ効率も良い。誘導棒も市民と団員の安全を第一と考えるためである。団員の方々の努力に報いる市。その姿勢を見せることは大切だ。

問 入団した段階で採寸をし、全体数量を取りまとめ発注するが、2ヶ月程度期間を要す。納品されるまでは退団により返却された活動服等を一時的に貸与している。

問 使用頻度が著しく低いものは配備していない。頭上小型ライトや誘導棒は国の基準で配備器具として分類されているが、分団及び車両に配備している投光器や発電機で夜間活動時の安全は、一定程度確保されている。

問 状況によっては、我々常備消防は部隊を確保し、装備も確保のうえ動いているが、消防団はまとまった部隊運営がなかなか出来ない状況にもあり、そのような事案の場合には、我々よりもリスクが高くなることは間違いない。

問 市内には現在、補水装置が107か所ある。各町域によりさまざまな様式である。路面においては工事後の路面高の変更や、地形によっては深さもまちまちであることから、我々常備消防も数種類装備し、さらには、地下消火栓装備も積んでいる。今後町域ごとの実態を調査し、災害を最小にするため、適正な配備を検討する。

問 市としては、消防団からの要望をしっかりと受け止め、財政面も考慮し、年次計画で進める。



ヘルメットへの装着ライト



## 令和2年5月特別議会補正予算（主な物）

### ◎特別定額給付金給付事業 総額7,811,793,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 77,901人分/令和2年4月27日現在/一人100,000円

### ◎子育て世帯への臨時特別給付金支援事業 総額96,263,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯へ生活支援を行う。  
児童手当を受給する世帯への交付金。 支給対象児童児童数9,250人/一人10,000円

### ◎児童扶養手当受給者への臨時特別給付金支給事業 総額20,218,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯等への給付金。  
第1子791人/支給額20,000円、第2子以降401人/支給額10,000円、※高校3年生まで対象

### ◎畜産経営緊急支援事業 総額45,293,000円（事務費含む）

新型コロナウイルス感染症の影響により牛肉消費の落込み、枝肉価格や子牛価格の落込んだことから、畜産農家の経営継続を支援する。（令和2年4月から9月までの市場出荷分）

肥育農家支援事業：交付単価 10,000円/1頭あたり/対象頭数3,350頭分/上限頭数100頭

繁殖農家支援事業：交付単価 5,000円/1頭あたり/対象頭数1,800頭分/上限頭数30頭

酪農農家支援事業：交付単価 5,000円/1頭あたり/対象頭数 500頭分/上限頭数30頭

### ◎飲食店需要創出支援補助金 総額10,000,000円（100事業者）/1事業者あたり100,000円を上限。

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し、宅配サービス等の新たな需要に対応する市内飲食店の支援事業。（飲食業・宿泊業で以下の要件を全て満たすもの）

- ①令和2年3月1日以降に新たに宅配サービス等に取り組む（取組んでいる）または、既に取り組んでいるが感染症拡大防止のため、使い捨て容器を購入する（購入した）者。
- ②令和2年3月1日から令和2年8月31日までの間、継続的に宅配サービス等を実施する者。
- ③新型コロナウイルス感染症の影響により売上が前号の期間のうち前年同月比で20%以上減少している月が1月以上ある者。



月に一度の辻立ち!  
コロナウイルス感染症  
予防の啓発



登米市発熱外来診察室調査  
熊谷県議、高橋栗原市議と共に

### ◎地域資源を活用した再生可能エネルギー設備導入事業 総額165,646,000円（事務費含む）

【目的】地域の豊富な資源を再生可能エネルギーとして積極的に使用することにより、持続的な森林整備の推進や地域林業の活性化、エネルギーの地産地消による地域経済循環の向上を図る。

【概要】道の駅津山・もくもくランドへ木質バイオマスボイラーによる、冷暖房設備を導入するため、実施設計及び設備工事を行う。

【導入設備】木質バイオマスボイラー1基、木質チップサイロ等 一式

【燃料供給量】使用木材は市内山林間伐材、木質チップ使用量は約138t/年・使用木材230m<sup>3</sup>/年

### ◎公共施設等災害復旧事業 総額11,000,000円

令和元年東日本台風により、被害を受けた「道の駅津山・もくもくランド」内の災害復旧。  
農林産物直売施設：地盤改良、床材・ウッドデッキ張替、内装腰壁改修、電気設備、給排水設備の各工事

## 令和2年6月定期議会補正予算（主な物）

### ◎議会・各常任委員会等の活動に要する経費の減額 総額10,536,000円

旅費：（議員費用弁償）△5,843,000円（職員普通旅費）△943,000円

負担金、補助及び交付金：（政務活動費交付金）△3,750,000円

### ◎公共施設等のLED化事業 総額217,668,000円

水銀による環境汚染防止に関する法律により、令和2年末を以って水銀灯の製造が原則禁止となることから、市内公共施設等に使用されている照明器具のLED化を図る。

小中学校体育館・武道館等、登米総合体育館・迫体育館・中田総合体育館等、集会施設、祝祭劇場等

### ◎強い農業・担い手づくり総合支援事業に要する経費 総額10,026,000円

先進的農業経営確率支援事業補助金 8,235,000円

地域担い手育成支援事業補助金 1,791,000円

市政への思いをお寄せください（TEL / FAX 0220-52-4351）